

基本計画

「基本計画」では、将来展望を踏まえ、自治基本条例の「まちづくりの指針」の実現に向けた基本的な方向性となる分野別施策と、分野別施策の中でも、人口減少社会への対応として効果が高く、特に力を入れて取り組む重点戦略を事業展開がわかるよう体系的に示します。

第1章 基本計画の概要

第2章 重点戦略

第3章 分野別施策

基本計画 第1章

基本計画の概要

- 1 基本計画の構成
- 2 SDGs（持続可能な開発目標）

1 基本計画の構成

(1) 基本計画の体系

基本計画は、自治基本条例で定めた5つの「まちづくりの指針」の実現に向けて取り組むべき施策を体系的に示すもので、分野別施策と重点戦略で構成します。

まちづくりの指針（自治基本条例第8条）

- 指針1 世界の人々と相互理解を深め、多様な文化が共生し、人々が平和に共存するまち
- 指針2 豊かな人間性と文化をはぐくみ、基本的人権を擁護するまち
- 指針3 互いに支え合い、誰もが安心して、安全に暮らすまち
- 指針4 自然環境と都市基盤が調和し、自然と人が共生するまち
- 指針5 産業を培い、活力とにぎわいのあるまち

基本計画

分野別施策

- 分野1 子ども・子育て、教育
- 分野2 健康、福祉
- 分野3 共生、文化芸術、スポーツ
- 分野4 安心・安全、都市基盤、交通
- 分野5 産業、雇用、環境

DX
(デジタル化)
への取組

GX
(脱炭素化)
への取組

人口減少社会への対応

重点戦略

- 重点戦略1 子どもを育む環境づくり
- 重点戦略2 活気あふれる産業づくり
- 重点戦略3 高齢者の想いに寄り添う環境づくり
- 重点戦略4 安心・安全で快適なまちづくり

DX
(デジタル化)
への取組

GX
(脱炭素化)
への取組

人口減少社会への対応

人口減少社会への対応では、個々の分野別施策の推進だけでなく、複数の分野別施策に位置づけられた複数の取組を戦略的・横断的に進めるとともに、限られた資源を重点的に投入する必要があります。

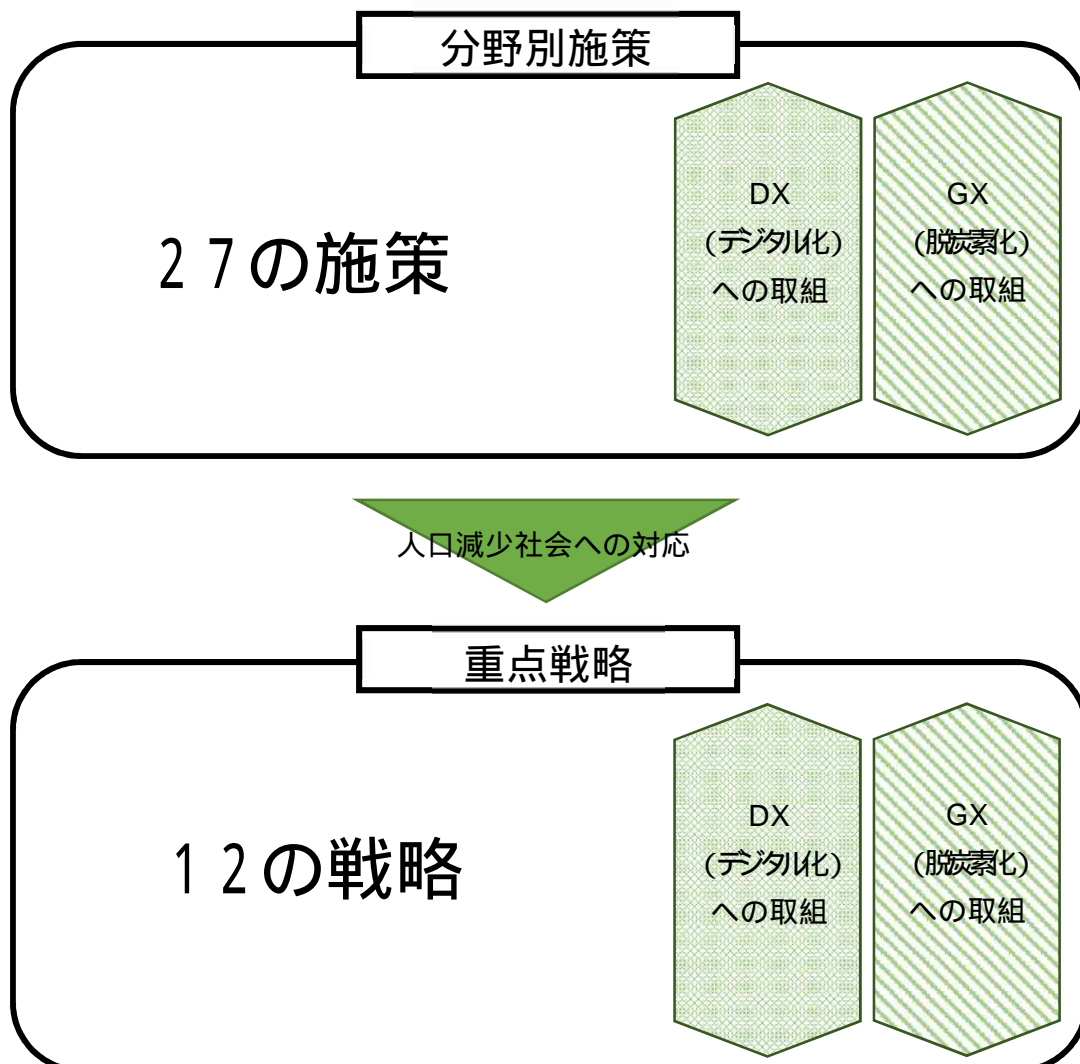
このため、重点戦略では、複数の分野別施策から人口減少社会への対応に効果が高い取組を複数選定し、それらを体系的に整理します。そのうえで、重点戦略と分野別施策を併せて推進することで、まちづくりの指針の実現を目指します。

DX（デジタル化）とGX（脱炭素化）

人口減少社会における課題を解決する有効な手段としてデジタル技術を活用し、施策効果の向上や行政サービスの更なる効率化を図るとともに、まちのデジタル化が促進されるよう取り組み、便利で快適に暮らせる社会づくりを進めていく必要があります。

また、ゼロカーボンシティの実現に向けて取り組む脱炭素化は、地球環境の保全だけでなく、新たな産業や雇用の創出、住環境の改善など、持続可能な社会の実現にもつながります。

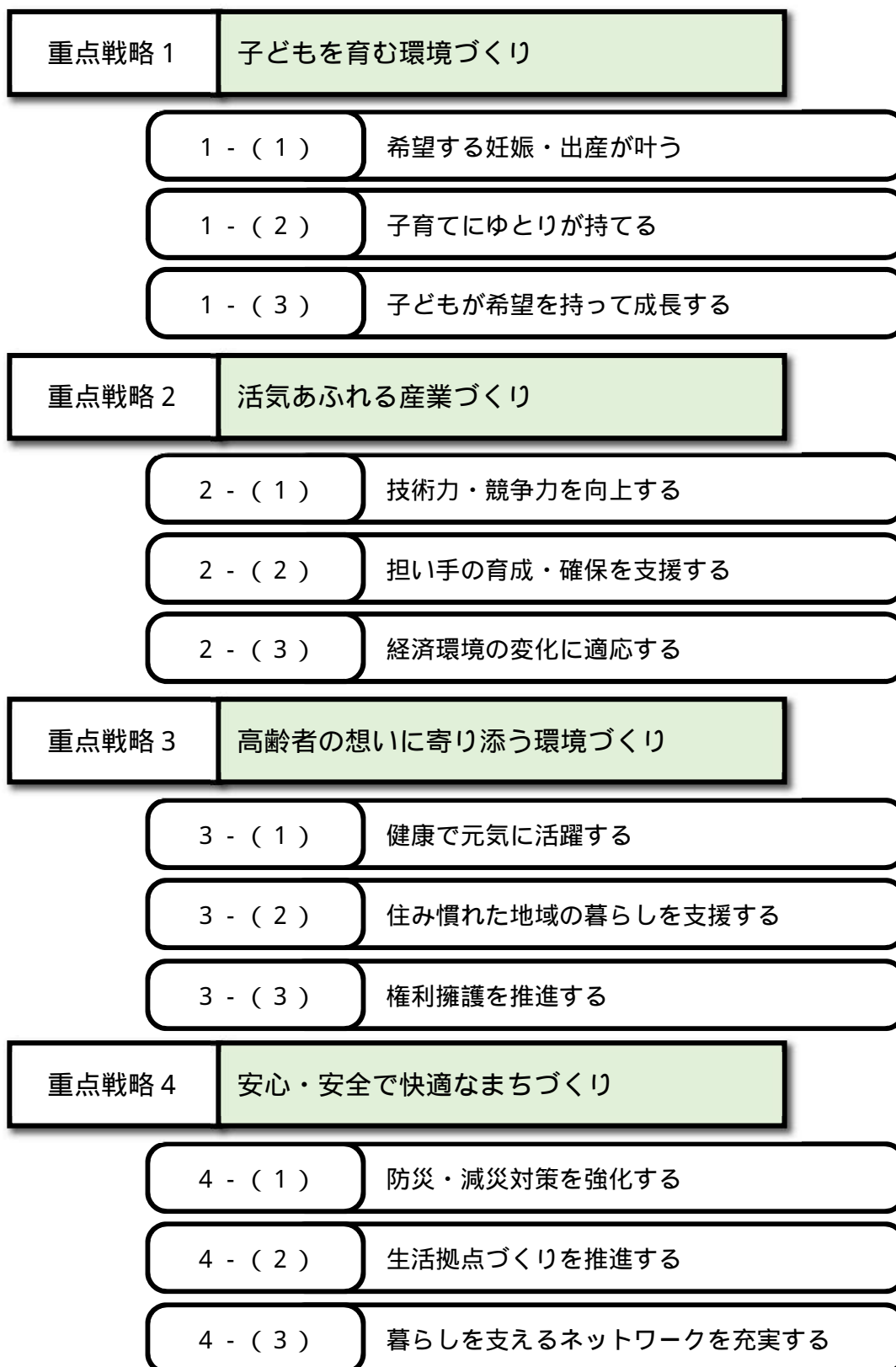
このように、DX（デジタル化）及びGX（脱炭素化）の取組は、どの施策にも関係が深く、総力を挙げて取り組むべき事項であることから、分野別施策と重点戦略のすべてにおいて位置づけることとします。



(2) 重点戦略

重点戦略とは、人口減少社会への対応として効果が高い取組を取りまとめたものです。

人口減少社会への対応は、国が目指す地方創生と方向性を同じくしていることから、本市の重点戦略を地方版総合戦略として位置づけます。なお、本市が目指すべきまちの姿は、自治基本条例のまちづくりの指針に定められており、これは、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が示す地域ビジョンを包含していると考えます。



(3) 分野別施策

分野別施策とは、本市の市政運営を総合的に進めるための基本的な方向性となります。

分野1	子ども・子育て、 教育	1-	子育てにやさしいまちづくりを推進する
		1-	子どもの学びを充実する
		1-	教育環境を充実する
		1-	青少年の健全育成を推進する
分野2	健康、福祉	2-	健康づくりを推進する
		2-	地域福祉を充実する
		2-	高齢者福祉を充実する
		2-	障がい福祉を推進する
分野3	共生、文化芸術、 スポーツ	3-	平和意識の普及啓発や人権尊重を推進する
		3-	市民交流・多文化共生を推進する
		3-	コミュニティ活動を促進する
		3-	生涯学習や文化芸術活動を推進する
		3-	誰もが楽しめるスポーツを充実する
分野4	安心・安全、 都市基盤、交通	4-	災害に強いまちづくりを推進する
		4-	消防・救急体制を強化する
		4-	日常生活の安心・安全を高める
		4-	まちづくりの拠点形成を推進する
		4-	交通の利便性・快適性を高める
		4-	快適な生活基盤の形成を推進する
		4-	花とみどりにあふれる環境を充実する
分野5	産業、雇用、環境	5-	産業の活性化を促進する
		5-	農業・漁業を振興する
		5-	工業を振興する
		5-	商業・観光を振興する
		5-	雇用の確保、多様な働き方を促進する
		5-	環境にやさしいまちづくりを推進する
		5-	循環型社会の形成を推進する

2 SDGs (持続可能な開発目標)

SDGs とは、持続可能な世界を実現するための開発目標です。17 の目標・169 の個別目標から構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



国は、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」において、2030年の目標年限に向けて地方創生 SDGs の推進を位置づけています。本市の重点戦略は、「地方版総合戦略」に相当するものとなっているため、重点戦略に対して、SDGs の各目標との関連を整理します。

このほか、国は、各自治体の政策目標や達成目標に利用可能な指標として「地方創生 SDGs ローカル指標リスト」を示しています。本市では、「地方創生 SDGs ローカル指標リスト」を参考にして、まちづくりの推進に関係の深い指標を、分野別施策の成果指標の一部に導入し、SDGs を推進していきます。

また、このような指標について、目標値ではなく目指すべき方向性（定性的な目標）を設定することで、目標値に捉われず、指標が変動した要因・分析に焦点を当てて、施策の効果を高めるための幅広い議論、検討をしていきます。

基本計画 第2章

重点戦略

重点戦略1 子どもを育む環境づくり

重点戦略2 活気あふれる産業づくり

重点戦略3 高齢者の想いに寄り添う環境づくり

重点戦略4 安心・安全で快適なまちづくり

希望する子どもの人数を持つことができない要因には、家計における経済不安や男性の労働時間過多による家事、育児時間の不足があります。産業分野の競争力と生産性の向上により、子育て世代の経済的な安定と家事、育児時間の確保につなげます。

福祉施策の充実には、地域経済の活性化による安定した財源が必要です。また、高齢者が培ってきた知識・技能を産業や地域で発揮することで、労働力や担い手の確保につながります。

これらのことから、「重点戦略1 子どもを育む環境づくり」、「重点戦略2 活気あふれる産業づくり」、「重点戦略3 高齢者の想いに寄り添う環境づくり」は、互いに強い関連があることを認識した上で推進します。

さらに、これら3つの重点戦略を推進するためには、「重点戦略4 安心・安全で快適なまちづくり」を安定した土台として築き、支えていく必要があります。

重点戦略Ⅰ

子どもを育む環境づくり

◆効果

子育て世代を社会全体で支援し、希望する人数の子どもを持つことができ、子どもが希望を持って成長しています。

◆基本的な方向性

希望する妊娠・出産が叶うように必要な支援を行うとともに、社会全体で子育て世代をあたたく支援する風土の醸成に取り組みます。また、子どもが自ら考え、将来を選択でき、心身ともに健やかに成長する環境を整えます。

◆デジタル化・脱炭素化の取組

スマート保育の実践と Baby Tech（ベビーテック）の導入促進
ICT を活用した子育て世代の負担軽減と情報収集の円滑化
学校教育を通じた情報リテラシーの向上
環境教育の充実

◆数値目標

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
育児・子育ては、夫婦同じくらい 分担していると回答した割合			(%)
保育ニーズに対する入所充足率			(%)
将来の夢ややりたいことがあると 答えた児童・生徒の割合 (小中学校)			(%)

：未就学児を育てている夫婦世帯が対象

(1) 希望する妊娠・出産が叶う

◆基本的な方向性

経済的、年齢・身体的な理由や、仕事を理由に出産を諦めることがないよう、必要な環境を整えます。

◆主な取組

将来の妊娠に向けた健康管理を促す取組の支援
 良質な就労環境による家計の安定
 夫婦で働きながら子育てができる環境づくり

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
保育ニーズに対する入所充足率			(%)
子育て環境を整備する企業への支援数【累計】			(件)

今後、担当部局と調整し、値を決定します。

◆SDGsの目標との関連

今後、本戦略と関連のあるSDGsのゴール（アイコン）を掲載します。

(2) 子育てにゆとりが持てる

◆基本的な方向性

子育てを一人で抱え込むことがないよう、男性の家事・育児に充てる時間を増やすとともに、社会や地域で支援する仕組みの整備や社会風土を醸成します。

◆主な取組

産後パパ育休のための総合支援策の推進
柔軟な働き方による子育て時間の確保
地域子育て支援拠点の充実と利用促進
子育て世代を支援する企業等の紹介と横展開

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
母親父親教室への男性の参加者数			(人)
未就園児に対する地域子育て支援拠点の利用率			(%)
子育て支援に取り組む企業の紹介回数【累計】			(件)

今後、担当部局と調整し、値を決定します。

◆SDGsの目標との関連

今後、本戦略と関連のあるSDGsのゴール（アイコン）を掲載します。

(3) 子どもが希望を持って成長する

◆基本的な方向性

子どもの確かな学力や豊かで健やかな心身を育成します。また、子どもが抱える様々な悩みや課題に寄り添う相談・支援体制を強化します。

◆主な取組

主体的・対話的で深い学びの実現
 悩みや課題に寄り添う相談・支援体制の強化
 勉学に意欲的な高等学校等へ進学する生徒への経済的支援
 職業体験など社会体験の実践

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると回答した児童・生徒の割合 (小中学校)			(%)
困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答した児童・生徒の割合 (小中学校)			(%)

今後、担当部局と調整し、値を決定します。

◆SDGsの目標との関連

今後、本戦略と関連のあるSDGsのゴール(アイコン)を掲載します。

重点戦略2

活気あふれる産業づくり

◆効果

企業や人が集い、社会環境に合わせて事業を変革し、地域経済が活気にあふれています。

◆基本的な方向性

基盤産業の集積と持続可能性を高めるために投資の促進、技術開発や研究開発拠点化を推進します。また、企業の人材育成、労働者のリスクリングや、それぞれのライフスタイルに合った働き方の実現を目指した労働環境の整備を促進します。さらに、起業・創業の支援体制を構築するとともに、中小企業の課題の解決を支援します。

◆デジタル化・脱炭素化の取組

デジタル技術の活用を含めた設備投資の支援
デジタル技術の活用を基にした産業の活性化
脱炭素に向けた技術開発や設備投資への支援

◆数値目標

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
知的対流を通じた交流人数【累計】			(人)
創業者数【累計】			(人)

：創業支援計画に基づく支援を受けた創業者数

(1) 技術力・競争力を向上する

◆基本的な方向性

基盤産業の集積と持続可能性を高めるために投資を促進するとともに、DX や GX などの新市場への参入が期待できる技術開発や実証プロジェクト等を誘致し、研究開発拠点化や製品化を推進します。

◆主な取組

施設・設備の整備に対する支援
あらゆる産業のスマート化への支援
産業間や、企業・大学・行政の連携の強化
脱炭素に向けた技術開発や設備投資への支援

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
企業立地支援件数【累計】			(件)
産学共同研究関連支援件数【累計】			(件)
企業における二酸化炭素排出削減量【累計】			(t)

：脱炭素設備投資補助金など市の支援によるもの

◆SDGsの目標との関連

今後、本戦略と関連のある SDGs のゴール（アイコン）を掲載します。

(2) 担い手の育成・確保を支援する

◆基本的な方向性

人材育成に向けたリスキリングやそれぞれのライフスタイルに合った働き方の実現に向けて、企業等における柔軟な労働環境の整備を促進します。

◆主な取組

様々な就労機会の創出支援
新たな担い手の確保
働き方改革に取り組む企業への支援
リスキリングの推進

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
合同就職面接会に参加した市内企業数【累計】			(件)
新規就農者数【累計】			(人)

今後、担当部局と調整し、値を決定します。

◆SDGsの目標との関連

今後、本戦略と関連のあるSDGsのゴール（アイコン）を掲載します。

(3) 経済環境の変化に適応する

◆基本的な方向性

誰もが起業・創業などの新しいことにチャレンジできるよう支援体制を構築します。また、中小企業の課題の解決を支援しつつ、スムーズな事業の拡大や承継などを促進します。

◆主な取組

次世代の担い手となる起業家の育成
円滑な創業・事業承継の促進
デジタル技術の活用を基にした産業の活性化

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
創業支援件数【累計】			(件)
中小企業の相談受付件数【累計】			(件)

：関係支援機関を含めた相談受付件数

◆SDGsの目標との関連

今後、本戦略と関連のあるSDGsのゴール（アイコン）を掲載します。

重点戦略3

高齢者の想いに寄り添う環境づくり

◆効果

いくつになってもいきいき活躍し、地域で見守り、支え合っています。

◆基本的な方向性

健康寿命を延ばす取組を推進するとともに、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるよう、様々な主体が協力して支える体制を強化します。また、自分らしい生き方を実現できるよう、積み重ねた知識や経験を活かす機会の創出や、ひとりひとりの権利を守る取組の推進を行います。

◆デジタル化・脱炭素化の取組

ICTスキルを活かした生きがい就労の支援
AI電話サービス等による一人暮らしの高齢者支援
スマート介護の推進
福祉施設等への環境配慮の啓発

◆数値目標

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
第2層地域協議体の開催回数			(回)
成年後見制度出張講座等参加者数 【累計】		今後、担当部局と調整し、値を決定します。	(人)

：地域主導で、地域の高齢者の介護予防、生活支援に関する課題を共有し解決を図る協議体

(1) 健康で元気に活躍する

◆基本的な方向性

健康意識を高め、自らの健康について考え、取り組む機会を提供します。また、それぞれの希望に合った活躍の場、機会を創出します。

◆主な取組

フレイルに早めに気づくための機会の確保
 多様な就業機会の確保
 知識、経験を活かす機会の創出
 交流、外出促進（趣味、生涯学習）

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
フレイルチェック参加者数			(人)
生きがい事業団会員数			(人)

今後、担当部局と調整し、値を決定します。

◆SDGsの目標との関連

今後、本戦略と関連のあるSDGsのゴール（アイコン）を掲載します。

(2) 住み慣れた地域の暮らしを支援する

◆基本的な方向性

医療と介護の連携強化と、身近な地域資源を活用して、生活課題の解決につなげます。また、地域福祉の担い手となる人材を確保、育成します。

◆主な取組

医療・介護に係る関係者の情報共有の支援強化
地域住民への医療・介護に関する情報の普及啓発
介護人材などの担い手確保
認知症の早期発見・早期対応
地域包括支援センターの強化

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
医療・介護多職種連携研修会の実施回数			(回)
認知症サポーター養成者数【累計】			(人)

今後、担当部局と調整し、値を決定します。

◆SDGsの目標との関連

今後、本戦略と関連のあるSDGsのゴール（アイコン）を掲載します。

(3) 権利擁護を推進する

◆基本的な方向性

本人の意思による選択を尊重するとともに、いのちや権利、財産を守り、自立した生活を送れるよう支援します。

◆主な取組

成年後見制度の普及啓発と利用支援
 高齢者虐待の防止
 自分らしく生きるための支援
 孤立しないための見守り支援

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
後見サポーター採用者数【累計】			(人)
高齢者虐待防止に関する研修の実施回数			(回)
終活 講座の実施回数			(回)
高齢者見守り協定の締結団体数【累計】			(団体)

：自分らしい人生の締めくくりを迎えるための活動

◆SDGsの目標との関連

今後、本戦略と関連のあるSDGsのゴール（アイコン）を掲載します。

重点戦略4

安心・安全で快適なまちづくり

◆効果

魅力あふれる地域で、どの世代においても、安心・安全で快適な日常生活が営まれています。

◆基本的な方向性

災害に対して強くしなやかに対応するため、ハードとソフトの両面から防災・減災対策を強化します。また、暮らしやすい環境をつくるため、都市機能の集積による生活拠点の形成を進めるとともに、誰でも安全かつ快適に移動できる交通環境の充実や住民の課題解決が実現できる体制整備に取り組みます。

◆デジタル化・脱炭素化の取組

3D都市モデルの活用
道路や橋りょうの点検におけるAI等の新技術の活用
避難所における再生可能エネルギー等を活用した非常用電源の設置
自動運転バスの実証実験の実施

◆数値目標

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
防災訓練の参加割合			(%)
自動運転バスの運行路線数【累計】		今後、担当部局と調整し、値を決定します。	(路線)

(1) 防災・減災対策を強化する

◆基本的な方向性

地域防災力の向上を推進するとともに、防災知識・意識の向上を促進します。また、災害による被害を最小限に抑え、迅速に復旧するための取組を強化するとともに、道路や下水道などのインフラの強化を推進します。

◆主な取組

防災教育の推進
避難体制の確保に対する取組の支援
インフラ施設の耐震化の推進

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
要配慮者利用施設における避難確保計画の作成割合	今後、担当部局と調整し、値を決定します。		(%)
橋りょうの耐震化数【累計】			(橋)
公共下水道管路の耐震化路線数【累計】			(路線)

◆SDGsの目標との関連

今後、本戦略と関連のあるSDGsのゴール（アイコン）を掲載します。

(2) 生活拠点づくりを推進する

◆基本的な方向性

生活利便施設の誘導や既存ストックの活用によって、各生活圏へ機能集積を促すとともに、各拠点における魅力向上を図るほか、地域資源の活用を推進します。

◆主な取組

各生活拠点への生活利便施設の誘導
平塚駅周辺地区における多機能化
魅力ある店舗づくりや商店街づくりの支援
地域資源の有効活用

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
平塚駅周辺における共同建替えの相談件数【累計】			(件)
魅力化実施店舗数【累計】			(店舗)
郊外部における地区まちづくり協議会との意見交換等実施回数			(回)

◆SDGsの目標との関連

今後、本戦略と関連のあるSDGsのゴール（アイコン）を掲載します。

(3) 暮らしを支えるネットワークを充実する

◆基本的な方向性

公共交通の利便性を向上するとともに、生活拠点の形成に合わせた交通結節点の創出に加え、移動の快適性を向上します。また、複雑化・複合化した暮らしの課題に対する支援のための仕組みを構築し、包括的な相談支援体制の整備を進めます。さらに、地域課題の解決に取り組む各団体等をつなぐ機会を設けます。

◆主な取組

地域特性に合わせた移動手段の確保
包括的相談支援体制の整備
地域課題の解決に向けた取組の支援

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
路線バスの乗り継ぎ環境の整備 箇所数【累計】			(箇所)
地域における「協議の場」の数			(箇所)

：様々な地域団体が集まり、地域の課題解決や更なる活性化を検討する場

◆SDGsの目標との関連

今後、本戦略と関連のあるSDGsのゴール（アイコン）を掲載します。

